

(五十音順)

平成27年度寄付者の皆さま

アズビル株式会社 様	公益社団法人 本所法人会 様
株式会社 アルカタワーズ 様	マークフロントタワー曳舟管理組合 様
社会福祉法人 賛育会 東京清風園 様	三浦印刷株式会社 様
株式会社 ジェイコム東京すみだ台東局 様	特定非営利活動法人
シティハイム千歳協議会 様	燃えない壊れないまち・すみだ支援隊 様
テルウェル東日本株式会社 様	

(匿名 5名 様、 1団体 様)

助成を受けた団体からの「ありがとう」メッセージ

所定の書式では書き切れな
い程の、お伝えしたい
成果と感謝が一杯ある
ありがとうございます。
NPO THOUSAND-PORT
代表理事 鈴木

何れも目標も達成でき、予想を超える
数の新規会員が加入しました。また、所管施設
若者施設から、職員研修の依頼があった
ことも、さらに、心を寄せる人も出てくる
状況であり、この事業の成果に驚いてい
ます。今後の活動の大きな励みになりま
す。皆様本当にありがとうございました。
地域づくり推進課「さき耳すみだ」同

子供達の笑顔に加え、新たな
地域内のつながりが実現しました。
防災も、かけつけた、新しい地域
コミュニティの芽生えを感じ、やる
機会も、ありがとうございました。
一歩言問も防災のまじりか

いつも応援ありがとうございます。
今年は「見込み問題」にこ
"飛躍の年!" とは
子供がいます。感謝!!
NPO法人マイフェイス・マイスタイル

つくる×たべるの共同作業による
食のイベントなど、たくさんの子供
たちとママさんエサバに参画して
いただきました。☺
対応するスタッフも自信が出てきた
ので、今後も継続して活動してい
きたいと思っております。
ひばりね寄附会 代表 ぶいねん家

後世に伝えるための最後70年事業
-東京大空襲体験者の想いととも-
無事! 90分のDVDを完成させ
墨田区内、地域5ヶ所の上映を
致しました。
応援基金の力をお借り致した
事に感謝致します。
スミダSGEP 一同

延べ81人の子供も達に
プログラミングの楽しさを可能
小生を知らせてもらうことが出来
ました。彼らが創造する
未来にご期待下さい
NPO
地域コミュニティ研究所 Cico Lavo

平成27年度

ちから

すみだの力応援基金 活動レポート

(墨田区協治 (ガバナンス) まちづくり推進基金)

<基金からの助成事業のしくみ>

「地域や社会のために何らかのかたちで貢献したい」という皆さんからの思いを寄付としてお受けし、「すみだの力応援基金」に積み立てます。そして、地域の課題解決を目指したまちづくり活動を、助成事業として区民の皆さんから募集し、この基金をもとに資金面から支援します。

基金
7か
団ら
体の
が助
活成
をも
とに
行い
まし
た

平成28年5月8日(日) 午後1時00分～

平成27年度「すみだの力応援基金」からの助成事業 実施報告会を開催します。

(会場: 墨田区役所13階131会議室)



<平成27年度 寄付状況>

5名+11団体(延べ114件)の皆さまから、

1, 887, 239円のご寄付をいただきました。

[発行] 墨田区 区民活動推進部 区民活動推進課 区民活動推進担当 (区役所庁舎 14 階)

電話: 03-5608-6202 FAX: 03-5608-6934

Eメール: KATSUDOSUISHIN@city.sumida.lg.jp

平成27年度は、7事業に合計 1,302,000円 を助成！

皆さまからの「応援」により、 地域をもっと元気にする さまざまな活動が行われました

外国人観光客を高校の文化祭でおもてなし

墨田区の高校生がグローバル社会に適應する力を身に付けることを目的に、外国人観光客を実際に墨田川高校の文化祭に招致し、ツアーガイドとなっておもてなしをしました。ガイドとなる高校生は3か月前から準備を重ね、ツアー内容や英語のガイドブックを作成しました。当日は、茶道・お化け屋敷・漫画クラブなどを英語で案内し、日本の文化祭を楽しんでもらいました。

＜成果＞外国人観光客と直に会話するという英語の実践経験から、高校生たちが世界に通用する自信を身につけられたのではないかと思います。また、ツアーガイドに当たって自身の文化を改めて学び見直すことで、母国・母校への理解もいっそう深まりました。

特定非営利活動法人 THOUSAND-PORT

助成額:148,000 円



地域内の多様団体との協働による 防災学習ワークショップ&シンポジウム

一寺言問地区の児童とその親を主対象とし、体験型の防災学習ワークショップを開催しました。また、建設業関係者や、福祉団体等、これまで連携を取ってこなかった地域団体や住民と意見交換を行う、シンポジウムを開催しました。

＜成果＞ワークショップ当日は多くの親子が参加し、若い親世代にも自助・共助の知識を伝えることができました。またイベント実施に当たり、これまで関わりのなかった地域の建設団体や職人、防災・福祉の団体に企画段階から参加いただいたことで、地域内に新たな連携体制を構築することができました。

一寺言問を防災のまちにする会

助成額:180,000 円



ふじのきさん家 ななめの関係・居場所づくり事業

未就学児を持つ親子を対象に、調理と食事を通して食について考える「親子 de コミュニティ・キッチン」のほか、地元建築家を講師として招き、木工工作を行う「木育講座」や、長期休み中に、大学生ボランティアが地域の小中学生に勉強を教える「宿題 DAY」を実施しました。

＜成果＞多くの参加者が運営スタッフと顔見知りになり、他のイベントにも参加するなど、地域住民の居場所作りができました。また親子連れの参加者や大学生ボランティア、高齢のスタッフがイベントを通して関わりを持つことができ、多世代交流を生み出すことができました。

NPO法人 燃えない壊れないまち・すみだ支援隊

助成額:250,000 円



すみだの高齢社会を支える人づくり(傾聴研修)事業

東京清風園（高齢者福祉施設）で「傾聴ミニ講座」を開催し、『傾聴とは何か』を知ってもらうきっかけ作りを行いました。そこから興味を持ち、傾聴活動を実践したいと思っていただけた方を対象に、すみだボランティアセンター分館で傾聴ボランティア養成研修を実施しました。研修では、実際の傾聴に必要なスキルの習得に取り組みしました。

＜成果＞もともと傾聴に興味・関心のなかった参加者からも「勉強になった」「普段の生活にも活かせる」など前向きな感想をいただきました。養成研修終了後は13名の養成ボランティアが誕生、新規ボランティアによる活動も始まり、墨田区の傾聴活動が今後さらなる拡がりを見せる事が期待されます。

傾聴ボランティア「きき耳すみだ」

助成額:81,000 円



後世に伝えるための戦後70年事業 —東京大空襲体験者の想いととも—

戦争を体験した区民17名の方々にインタビューをし、体験談や平和への思いを当時の記録写真とともにまとめたDVDを作成しました。DVD完成後は、区内5か所で上映会を行い、鑑賞後に参加者が感想を共有しあう時間を設けました。

＜成果＞普段聞く機会のない戦時中の体験談を映像にまとめ、上映会という形で地域の方に伝えることができました。また今後DVDを各種研修教材として利用できる可能性があるとのことご意見もいただくことができました。

スミダSGEP

助成額:200,000 円



マチナカデミア「スクラッチクラブ」

主に小中学生を対象として、マサチューセッツ工科大学が作成したプログラミング学習ツール「スクラッチ」などを用いたプログラミング学習を、放課後の「クラブ活動」の样に行う場を、創出しました。運営には社会人ボランティアのほか、高校生ボランティアも参加しました。

＜成果＞区内の小中学生に継続したプログラミングの学習機会を提供することができました。また高校生ボランティアに参加してもらうことで、世代間の交流を実現することができました。

特定非営利活動法人 地域コミュニティ研究所CicoLavo

助成額:193,000 円



「見た目問題」スタディツアー

「見た目問題」への理解や地域住民とのつながりを深めることを目的に、昨年に引き続き写真展を開催したほか、写真展会場で写真モデルとなっている当事者が写真の説明やモデル体験などを語る「スタディツアー」を行いました。

＜成果＞スタディツアーを通して、参加者が直接当事者の話を聞くことができ、「見た目問題」をより身近に感じてもらうことができました。これは当事者の孤立を防ぐことにもつながり、有事に助け合う環境作りのきっかけになりました。

特定非営利活動法人マイフェイス・マイスタイル

助成額:250,000 円

